



# 曳舟幼稚園だより — 6月号 —

令和4年5月31日  
墨田区立曳舟幼稚園  
園長 吉岡 大司

## 「四つ葉のクローバー」は、ラッキーアイテムです

園長 吉岡 大司

あっという間に春が過ぎ去り、季節は梅雨に移り変わります。しかし、気温が25度を超える夏日なども続き、コロナウイルス感染拡大防止対策に加え、熱中症が心配されます。今月も、体調管理に気をつけながらも、楽しんで過ごせるようにしたいと思います。

さて、雨で延期した親子遠足も、五月晴れの中、5月24日（火）に実施でき、園長として嬉しく感じています。当日は、先生や子ども達、保護者の方々と、園内を散策し、自然に触れ合いながらゲームをしました。担任の先生から、散策の途中で「発見があったら教えて」の声で、保護者の方や子ども達の「四つ葉のクローバーの発見」は、私が曳舟小学校の児童朝会で話した内容を思い出すほどの驚きでした。その話は次の通りです。

皆さんの知っているクローバーの葉は普通3枚です。だから、ラッキーアイテムの4枚の葉があるクローバーを見つけることは中々できません。でも、その四つ葉のクローバーを見つけやすい場所があるみたいです。それは、人が沢山通ったり、クローバーが踏まれたり折られたりしやすい場所だそうです。クローバーの葉は、小さいときに、踏まれたり、傷つけられたりすると、2つに分かれてしまうことがあり、その傷を治そうとして、沢山の栄養をだし、それぞれが大きな葉となって、ラッキーアイテムの四つ葉のクローバーになるそうです。皆さんが、友達とけんかして落ち込んでいたり、叱られて元気をなくし悩んだりすることは、クローバーの小さな赤ちゃんの葉が、誰かに踏まれて傷ついたのと同じだと考えてみてはどうでしょうか。傷ついたクローバーがその傷を治そうとする力で、四つ葉をつくるように、皆さんが今、落ち込んでいたり、元気をなくしていたりしていることなど勇気をもって乗り越えていくと、そこには新しい「幸せ」が待っているし、きっと、皆さんも、すてきな四つ葉のクローバーになれるのではないかと思います。・・・・・・・・

ですから、必死に探しましたが、やっぱり見つけられませんでした。残念！

ところで、今、ゆり組さんは、朝の「あいさつ」がとても元気よくできています。

特に、登園一番乗りの子も達は、玄関の時計と「にらめっこ」しながら「もう入れるのかな」と待っています。そして、子ども達は、靴を履き替えているときに「〇〇ちゃんお早う」と自然に「あいさつ」を交わしています。「あいさつ」を親しみをもってできることは、とても大切なことです。でも、私達大人は「ちゃんと『ごあいさつ』しなさい」というような躰（しつけ）になりがちかもしれませんね。小学校では「あいさつ」は、友達と仲よくなれる魔法の言葉と指導しています。「あいさつ」が楽しみになり、あいさつを交わす「心地よさ」を味わえることを大切にしたいと思います。

\*朝の「あいさつ」は出会いや再会を喜び合う。

\*帰りの「あいさつ」は別れを惜しみ、再会を楽しみにする。

その他にも、「いただきます」「ごちそうさま」「どういたしまして」「お先にどうぞ」「また明日ね」「入れて」「いいよ」「一緒に遊ぼう」など心と心をつなぐ「あいさつ」ができる子どもに育ててほしいものです。そのためにも、私達、教師や保護者の皆様があたたかい「あいさつ」や言葉を交わす姿を子どもたちに見せていきましょう。



下記の QR コードより幼稚園のホームページをご覧ください

